



新横浜駅営業第二の詰所の床が新品に！

東海労の要求で10年越しの懸案が解決

新横浜駅営業第二の詰所の床が3月13日、ついに新品に貼り替えられました。10年以上前に現在の場所に移転した当初から床に貼ってあったフローカーペットは擦り減った状態であり、移転当初からあまりの汚さに社員が管理者に貼り替えを要求していました。しかし貼り替えられることなく今日に至っていたのです。ある社員は床の状態を見て「ドブの様な床」だと揶揄する程の有様でした。その床が10年越しにJR東海労の要求によって貼り替えられたのです。



新横浜駅営業第二は、職場で発生していた様々な問題が何ら改善される事なく放置されている職場でした。21年12月にJR東海労組合員2名が転勤となり、それ以降、そういった問題の一つひとつを職場改善要求として議論し、職場の声として会社に改善を要求してきました。その結果、防寒着の貸与や掲示板の改善、コロナ感染対策などの諸問題の改善を勝ち取ってきました。その積み重ねによって他労組掲示板に職場の声として掲示を掲出することができたのです。

少数でもできる闘いはあります。これからもJR東海労らしく職場の声を基礎に闘いを作り出していきます。